

県医労新聞

2010年12月

盛岡市内丸11番1号
岩手県医療局労働組合

電話 019-623-8271

FAX 019-623-8273

編集発行人

中野 るみ子

毎月1回発行 1846号(月刊61号)



10月29日～30日 県医労フレッシュセミナー(雫石町「ホテル森の風鶯宿」)

— 目次 —

- 1P 第1回団体交渉
地公闘総務部長交渉
- 2P 自治体病院労組全国交流集会
退勤時間調査
早期集会
- 3P フレッシュセミナー
- 4P 36協定・安全衛生学習会
11.13秋の県民集会
- 5P 看護部会ニュース
- 6P 女性部ニュース
- 7P 青年部ニュース
- 8P つぶやき、とんがらし
10月号パズル当選者



レクリエーションで交流

3月以来8ヶ月ぶり 団交で年末年始追及 労働時間短縮は4月実施



団交で回答する田村医療局長（右から4人目）

3月25日以来8ヶ月ぶりとなる本部団体交渉が、11月15日（月）午前11時から盛岡市「泉金ビル」会議室で開催されました。

冒頭、8ヶ月も開催されなかった問題を追及し、「少な過ぎるのは気にしていない」との回答を引き出し、早急に次回団体交渉に承諾する方向を確認しました。実施を「ずるずる延ばさ

ない」として今日に至っていない労働時間短縮＝昼休み1時間＝は、未だに赤字、黒字に拘泥され、「赤字の実態では実施できない」と回答。国家公務員は2年、同じ岩手県職員が1年も時短が先行していることを追及する中で、「現在は収支が改善してきているので、1月の状況を見て、4月実施へ検討したい」としました。また、病院業務手当の日額化については、作業が遅れている事を認めさせ、4月実施へ向け、素案ができたなら組合に提示することとさせました。

団体交渉の多くの時間を年末年始の労働条件に費やしました。昨年、「1月1日だけは非番を割り振らない」と回答し、交替制の現場が混乱しました。年末年始は特別な期間か、との追及に、「世の中一般ではそううだ」と、毎年、年末年始

6連休の医療局長は人ごとのように回答。現場の声として、「職場のみんなの協力で夜勤をこなしながらも、家族サービスもがんばってきた」、「年末年始には非番を割り振らないでほしい」と働いている職員が納得できる労働条件をと、訴えました。また、一部の病院で年末年始の勤務希望を締め切り、勤務割の作成を強引に進めている実態も指

地公共闘、総務部長と交渉 育児支援で前進回答

県職員全体の賃金、労働条件の改善に向け、地公共闘（地方公務員共闘会議）に参加し、県庁座り込み、ジャンボ葉書などに取り組みながら県当局と交渉してきました。11月11日には、座り込みを背景に、総務部長交

渉が行われました。この中で、育児時間のまとめ取り、年次との調整緩和、短期介護休暇の要件緩和など、前進回答がありました。来年3月で終わるはずの特例減額については、来年の国の予算を見ないと、明言出来ない、という対応に終始。引き続き、2月県議会に向けた取り組みが必要です。

「生命村長の 深沢晟雄に学び、納得！」 自治体病院労組全国交流会へ

全国の自治体立病院や公的病院労組の交流会が11月3、4日の2日間、つなぎ温泉「愛真館」で開催されました。



講演する及川和男さん

初日は、映画「いのちの山河」の原作者である及川和男さんが講演しました。講演の中で及川さんは、

旧沢内村の深沢村長が「人命の格差は絶対許さない。生命の商品化は断じて許せないと考えることに無理があろうか」と執筆していることを述べ、「今、深沢晟雄が生きていたら、どんなに憤慨したことかと思う」と自治体立病院の存続を訴えました。参加者からは改めて、「自治体立病院の役割と責任が理解できた」と感想が述べられました。

その後、日本医労連の山田真巳子副委員長が問題提起し、秋田公立米内沢病院から「分限免職処分差止訴訟」の連帯報告、岩手から沼宮内病院を守る住民運動

退勤時間調査 超過勤務きちんと書いてますか？



日本医労連の全国統一退勤時間調査にあわせて、県医労では現在までに12支部が退勤時間調査を実施しました。ほとんどの支部で19時30分、20時を過ぎても多くの日勤者がまだ勤務している状況でした。

「研修があると時間外が書きづらい」「電カル導入で超過が多い、とっても大変」「具合が悪くても、今の人員配置では休めない」など、この調査を通して様々なSOSの声が寄せられます。まだ実施していない支部は今からでも取り組みをアピールしましょう！

について「岩手町の医療と福祉を守る会」の愛木タエ子さんが報告。愛媛、広島からも特別報告がありました。

二日目は、各職場、地域での取り組みや意見交換などを行いました。

県医労からの参加者は6支部・本部11名でした。

団結がんばろう

11日の要求書の回答指定日にあわせ、11月12日(金)、県医労第2次統一行動・早朝集会が開催されました。

一戸支部では回答書の内容や人事異動要求書の提出等、今後の取り組みを確認し、参加者からの決意表明で意志統一を行いました。

☆フレッシュジュセセミナー☆ 組合を学び、楽しく交流

10月29日～30日にかけて、対象者32名を含む計46名の参加者で「県医労フレッシュセミナー」が開催されました。

組合に入っても、なかなか組合の意味や労働者の権利などについて知る機会がないのが現状です。主に新入組合員を対象としたこの本



「組合って?」「権利って?」を学ぶ

部企画は、組合とは何か、そして県医労がどんな運動をしてきたのか、または、自分達の権利について等、労働者として組合員としての基礎知識を身につけるための学習の場です。参加者からの感想の中でも「組合や県病の成り立ちを知ることが出来



賞品目指してジャンケン大会

います。

また、学習のみならず、他の支部の組合員との交流や情報交換が出来る企画も用意しています。例年、本部青年部が担当しているレクリエーションでは、チーム対抗早押しクイズを取り入れ、違う病院の人とも楽しみながら交流しました。夕食交流会でもチーム対抗ゲームや、けんじワールド無料招待券を賭けたジャンケン大会などで大盛り上がりしながら参加者同士打ち解け合っていました。

2日目に行われたグループ討議では、「他の病院の状況を知ることが出来た」、「日頃思っていることを話せて良かった」という感想の他に

た、「職場の権利が様々あることを知った」、「もっと権利を使っていたら良かった」と等、感想が寄せられて

も、「新人は、今年から一年間は超勤を書けないと師長から言われた」など、未だに労働基準法を理解していない管理者がいるなど切実な実態も報告されています。

フレッシュジュセセミナー参加のきっかけは、「先輩や職場の人に勧められたから」が多

くを占めます。今年参加した人は是非来年の新入組合員に声をかけて下さい。今年参加出来なかった方は、来年是非参加をお待ちしています。

みんなで組合について学びながら楽しく交流しましょう!

食欲の秋を満喫 山田支部旅行

11月6日(土)に開催した山田支部の支部旅行には、子ども11名を含む総勢24名が参加しました。

この日は絶好の行楽日和。山田駅を7時30分に出発し、平泉中尊寺(きく祭り)～前沢牛オガタでステーキ～東北ニュージーンランド村～前沢サービスエリアでお土産購入&休憩～山田駅に19時に着きました。

バスの中では、職場(病院・白衣)から解放され、気の合った仲間や家族と和気あいあい、日ごろのストレスを癒やしていました。

昼食は、なかなか食することの無い前沢牛(200g)を思い思いに焼いてほおぼっていました。今回の旅行で、ますます組合の親睦を深めることが出来ました。(K)



学んで良かった！ 時間外書くことと大事！

衛生委員会・36協定学習会

岩手医労連主催の「第2回安全衛生委員会・36協定学習会」は、11月13日盛岡市玉山区「ユートランド姫神」にて開催され、13単組36名、そのうち県医労からは10名の参加でした。

午前は各単組からの活動



昨年引き続き2回目の開催となった学習会

報告がされ、県医労からは8支部・本部から発言があり、「20時間を超えると組合に怒られるから」と協定の締結を組合攻撃に使っている師長の言動や、36協定を締結したにも関わらず、日勤が終わるのが23・24時という実態等が報告されました。また、支部組合に対し「20時間超え」の名簿が提出されている病院がある一方で、7月までしか提出されていない病院や月1回しか提出されていない等、締結通り進んでいない状況も出されました。

午後は、「安全衛生委員会と36協定の取り組み方」と題して、全

医労本部・三浦宣子中央執行委員の講演がありました。「36協定を時間数の協議だけに終わらせないこと」、「職場

毎の時間外労働や次年度の人員配置の計画等資料を出させること」「職場に根ざした協定の協議が大切であり、



全医労本部の三浦中央執行委員

協定の更新に簡単にハンコをついてはいけないこと」「たとえば休憩時間がとれなかった場合、どこにどう書くのか、きちんと決めなければいけないこと」等、具体的な示唆がたくさんありました。

参加者からは、「来年も開催して欲しい」との感想が寄せられています。

なくせ!貧困と格差 守れ!平和・いのち・くらし・雇用・農業 11・13秋の県民集会

県民の要求実現をめざす、11・13秋の県民集会が教育会館で開催され、約400名が参加しました。

当日はロビーで、野菜・果物などのバザーや、署名コーナーも設けられ、県医労でも大幅増員署名とチラシ配布に取り組み、79筆を集約しました。(5ページ左上/写真)

記念講演は「平和を作り出す宗教者ネットinみやぎ」の事務局長・川端純四郎さんが「安保50年と日本の進路～普天間と消費税」と題して行い、「米日グローバル資本の支配から脱却し、自分たちの未来を築くために市民・労働運動と地方選挙による世論の変革が重要である」と話しました。

各団体からの要求パフォーマンスのあとのアピールウォークでは、横断幕やのぼり旗を手に、シュプレヒコールを行いました。

県医労からは12支部・本部32名が参加しました。



講師の川端純四郎さん



横断幕でアピールウォーク!

大幅増員、夜勤改善の 200万署名 がんばってます。



11.13県民集会(教育会館)のロビーで署名を訴えました

日本医労連で200万筆集約を目指している「大幅増員・夜勤改善」の署名の取り組みを紹介します。

すでに遠野支部では10月19、20日に病院玄関前署名を行い220筆を集めました。胆沢支部ではOB等に協力を依頼し、11月17日現在、1300筆を超えています。

政治の流れも私達を後押しするかのようになり、民主党、自民党でも看護議員連盟がスタートすることが決定し、国会でも看護師の問題について追及しています。

県医労では組合員一人10筆を目標に取り組んでいます。200万筆を目指してこれからも署名活動を、引き続き頑張ります。

久慈支部でも玄関前署名

11月15、16日(月、火)の8時から10時までの2時間、久慈支部で玄関前署名に取り組みました。

署名行動への参加者は、

2日間で延べ5名と少なかつた

ものの、患者さんは「大変なんだね」と快く署名に協力。なんと265筆集まりました。

11・13県民集会でも

大勢の人が集まる県民集会で、署名をたくさん集めようと、県医労は支部から参加した組合員にもチラシ配布、声かけなどに協力してもらいました。

署名コーナーも設けられ、集会開始前の短時間に、79筆の署名を集めることができました。

医労連看護対策委員会が 県看護協会と懇談

岩手医労連看護対策委員会は、委員長が交代したことを受け、11月22日、県看護協会と懇談しました。

医労連の中野委員長が今の厳しい実態や、久常日本看護協会長が医労連の集会で講演したことを説明。

それを受けて、兼田岩手県看護協会長は、「岩手県の取り組みも、潜在看護師の掘り起こしから離職させない取り組みへとシフトしている。はたらく環境を整えることが重要」と話しました。看護協会からは兼田協会長、

姉帯理事、富山事務局長、医労連からは中野委員長、〇〇〇副委員長、〇〇書記次長、〇〇書記長が参加しました。

岩手医労連が県要請

11月22日岩手医労連は、「岩手県内における看護師確保・院内保育所充実及び介護職員の処遇改善に関する要請書」を県に提出し、その中で看護師の確保対策に向け、看護師の厳しい労働実態や、院内保育所への補助の増額、介護労働者への処遇の改善について訴え意見交換を行いました。



医労連・県要請の様子

今後とも要請行動などを通じて情報を提供し、行政に少しでも、反映させるよう取り組みていきます。

第36回女性部ブロック集会

心も話もはずんで



名作がズラ〜リ

北部 小久慈焼きを楽しんで

11月6日、北部ブロック集会在久慈市で行われ、素朴な風合いが魅力の焼き物・小久慈焼に挑戦しました。作るポイント、注意点を教えてもらい、お皿、カップ、湯飲みなど、作りたい物を自由に作成。悩みながらもお昼前には作り終えめました。焼き上がるのは、1〜2カ月前ですが、作る楽しみ

に加えて、できあがりも楽しめます。お昼は、担当の久慈支部のみなさんが用意してくれた、手作りの芋の子汁やデザートなどに、参加者一同大感激でした。食後の交流では、「誘われて初めて参加しました。楽しかったです。また、参加したい」「心のこもった、温かい料理がおいしかった」「仕事以外で集中できて良かった」などの感想が聞かれました。この日は、4支部・本部19名が参加し、交流しました。

自 聞いて、見て、食べてGOOD!



前菜 [魚介のタルタル]

11月6日(土) 浄土ヶ浜パークホテルで、女性部三陸ブロック集会在3支部・本部15名の参加で行われました。最初に宮古病院OGの○○○○さんによる講演、「子どもたちと考える性教育」。学校で講演活動をしている○○さんからは、子供の反応や講演後のアンケート結果のリアルな内容も聞くことができました。思春期の子供を持つ親からは「とても参考になった」

最初には宮古病院OGの○○○○さんによる講演、「子どもたちと考える性教育」。学校で講演活動をしている○○さんからは、子供の反応や講演後のアンケート結果のリアルな内容も聞くことができました。思春期の子供を持つ親からは「とても参考になった」

最後は支部交流。久しぶりに懐かしい顔を見る機会ともなるブロック集会所「楽しかった。次も参加したい」という声も。来年はあなたも参加してみませんか？

次はテーブルマナー。ホテルの方のわかりやすい説明を聞きながら、美味しくいただきました。一番大事なことは、「楽しく食べること」だそうです。



最後にパチリ

幻想的な演出と最高のパフォーマンスでした!

中央交流会inシルクドソレイユ



11月13日〜14日に7支部・本部合わせ21名の参加者で「中央交流会inシルクドソレイユ」が開催されました。

デイズニリーゾートはすでにクリスマスモード満点で、シルクドソレイユに向かう途中も楽しめました。入場前に記念の一枚を撮りいざ鑑賞へ!席に座って待っている間、道化師が登場し観客席でパフォーマンスを始め、笑いに包まれながら開始時間を迎えました。道化師が不思議な本の中に吸い込まれると巨大なカ



ハイレベルのパフォーマンス

ーテンが落ち、幻想的なステージが登場。歌に合わせた、バトン回しに始まり、ロープや鉄棒を使ったパフォーマンス。見事なジャグリングに思わず声が出てしまふほどスリリングな綱渡りや空中ブランコなど様々なショーを次々に楽しむことが出来ました。

ファイナルは、満場の拍手で会場が包まれ、鳴り止まない拍手に何度もパフォーマンスが登壇して観客に手を振って応えていました。その後、ホテルのチェックインを済ませると、みんなで揃って夕食交流会へ出かけました。本部青年部委員の司会進行のもと、待つ



シルクドソレイユ前での記念写真

てましたとばかりに張り切って乾杯し、ボリュウムたっぷりの料理を食べながら、シルクドソレイユの感想や、職場の現状等、色々な話題で大盛り上がりしました。

参加者からは、「シルクドソレイユは良かった」、「良い企画だ」、「次はこんな企画はどう?」等の感想も聞かれ、日頃の忙しさを忘れ、楽しみながら交流することが出来ました。

来年度の中央交流会は、「フレッシユセミナー」に引き続き行われた「青年部長・書記長会議」での意見を基に企画する予定です。また、1月29〜30日にかけて



夕食交流会でカンパ〜イ☆

て毎年恒例の人気企画「スキー・スノーボード交流会」も開催します。青年部の目的は楽しく交流しながら、組合の輪を広げていくことです。本部青年部は、みなさんの意見を聞きながら、楽しみながら他の青年部員とも交流を深められる、そんな企画作りに努めていきます。今回参加出来なかった方も是非、次の企画に参加してみてください。参加した方は、他の青年部員も誘って、また、参加して下さい!

びざざび

リフレッシュ休暇を使い、初めて一人旅をして伊東に行ってきました。目的は「いのちと健康を守る全国集会」。「いのけん」の存在を初めて知り、私たちの職場での労働安全衛生活動の遅れを痛感し、何よりもメンタルヘルス対策の糸口を見つけたのは大きな発見でした。メンタル不全防止のため、指導開始!!

南光支部 元気上げ隊

限られた時間の中で、次々と課題が多く、消化しきれません。今回、壮年部集会に参加しました。それなりの年頃なので、忘れることも多く、大変な毎日をお過ごししています。

宮古支部 匿名希望

「人員不足だから」と

今年も年次の希望を出しても叶いませんでした。来年は年次をとって、今年の分まで家族とのんびり過ごす時間を持ちたいです。

磐井支部 匿名希望

先日、地元のお祭りに参加して、一日中踊ったら、筋肉痛です！身体は正直だな…。そこで、整いました！

秋祭り 終わってみれば
湿布祭り（字余り：）
大船渡支部 天照大神

食欲の秋ですね。あれも、これもと、食べる物すべてが美味しいこの季節に、幸せを感じます。

大船渡支部 さるぼぼ

電子カルテが導入になりました。毎日日勤は夜の11時まで働いていますが、予算が無く椅子は買ってもらえませんでした。ずっと立ちっぱなしで辛いです。

中央支部 クツキーママ

当選者発表

十月号パズル

10月号パズル「まちがいは7つ」には19名の応募があり、全員正解でした。厳正なる抽選の結果、次の10名が当選されましたので図書カードを贈ります。

10月号当選者(敬称略)
越冬カメ虫(一戸支部)、匿名希望、トド(以上、中央支部)、元気上げ隊、シラネアオイ、(南光支部)、チュエック・オン・チュエック、ドスコイ王子(千厩支部)、はなちゃん(大船渡支部)、世界タービン(釜石支部)、○○○○○(宮古支部)

とんがらし

▼11月10日の朝日新聞の6面に「世界一危険な普天間基地の撤去、辺野古に新しい基地はつくらない」という意見広告が載りました。普天間基地を空から撮った写真は、周囲にびっしり家や学校などが立ち並んでいます▼広告の左側に協力した2000を超える団体や個人名が細かい字で記載されています。探せな

いかなと思つて見ると：ありました！岩手県医療局労働組合▼これは、第144回中央委員会に参加した代議員やオブザーバー、中央執行委員等に意見広告へのカンパを呼びかけて、実現したものです。カンパは最終的に、2万5千円が集まりました▼11月28日は沖縄知事選。立候補者の一人、伊波洋一氏はきっぱりと「沖縄に基地はいらない」と言いきります。そして沖縄県立病院の独立行政法人化問題についても「県立病院は県民のいのちのとりで。その使命と責任を市場原理で捨て去ることはできない」と話しています。県立病院のあり方検討会も開催されている岩手県ですが、この言葉をぜひ達増知事から、聞きたいものです▼沖縄は先の大戦で唯一の地上戦となり、県民の4人に1人が犠牲となったところで、日本に存在する米軍施設の75%が集中しています▼この記事がみなさんの目にとまる頃には、知事選の結果が出てい

るはずですが。沖縄と全国のかまの総意が沖縄知事選の結果として現れ、それが現実

未来をにう子どもたちに

核兵器のない世界を

いわさきちひろ

2011カレンダー(大判)

斡旋価格1,260円

(絵7枚 A2版)
(59.4×42cm)



職場川柳

◇理論より 心を込める 感情労働

(看護論)

◇帰省せず 老婆忍びつ 除夜の鐘

(今年は年越し準夜です)

◇電カルで 超勤・パワハラ 急上昇

(看護の質は急降下)

◇祝日が 呪日に見える 年末年始

(つかれ目)

◇祝祝祝 祝祝祝と 書いてやる

(三交替勤務者)

12月の予定

- 4日(土) 女性部南部ブロック集会(千蔵)
- 11日(土) 女性部中部ブロック集会(花巻)
- 18日(土) 拡大支部長会議(岩手県民会館)
- 20日(月) 看護部会、看護指導監との懇談

1月の予定

- 7日(金) いわて労連春闘旗開き(サンビル)
- 21日(金)~22日(土)
支部長・書記長会議
旗開き
春闘学習会
- 23日(日) いわて労連評議員会(水産会館)
- 29日(土) 岩手医労連中央委員会
岩手医労連旗開き
- 29日(土)~30日(日)
県医労青年部スキー・スノーボード交流会
(安比高原)



懸賞パズル

上下どちらかの絵に7つの間違い箇所の印をつけ、ハガキに貼付して、応募して下さい。正解者の中から、抽選で10名の組合員に図書カードを送ります。送る先は〒020-0023 盛岡市内丸1-1、県医労「懸賞パズル」係まで。締切は12月末日(必着)です。また、抽選には関係ありませんが、ハガキの余白に「つばやき」



まちがいは7つ



(職場の話題など何でも)を、ぜひ一言お書き下さい。県医労新聞で紹介する場合がありますので、匿名希望の場合には、その旨を書いて下さい(ペンネーム可)。ただし、当選した場合は、記念品の送り先が必要となりますので、支部名・本名の記入をお忘れなく!